



令和7年11月1日
目黒区立目黒本町保育園園長

園庭の金木犀が満開になり、甘い香りが漂っています。落ちた小さな花びらをカップにたくさん集めて匂いをかいだり、型抜きした砂の上に落として花びらケーキを作ったり小さなオレンジの花びらが様々な遊びへと広がっています。ある日、5歳児クラスの子もたちがタイヤの回転を利用して体を揺らしていました。その様子を見ていた2歳児の子がタイヤの前で並んでいる5歳児の列の一番前にすっと入りました。傍にいた保育士が「やるの」と尋ねると、うなずいています。そのやりとりをみた次の順番の5歳児の子はにっこりしてさりげなく前に入れてくれました。2歳児の子は遊んでみるとすごく楽しかったようでまた列の一番前に入ったので今度は保育士が「順番だよ」と声をかけ、並ぶように列の後ろに促しました。長い列を待てるかで見守っているとその子は列に並びじっと自分の番がくるまで根気よく待ち、再びタイヤ遊びを楽しんでいました。集団の生活の中で“順番”という場面は沢山あります。遊びの中のやりたいという気持ちは興味を広げ知識を得るだけではなく、社会性も培っています。子どもたちのやりたいがたくさん見つかるように、保育の展開を工夫していきたいと思います。



今月から保育参観が始まりました。日頃のお子さんの姿をご覧いただき保護者の方々と共にお子さんの成長を喜び合う機会にしていきたいと思います。お忙しいとは存じますがご参加いただけますようお願い申し上げます。

行事予定

交通安全教室 3, 4, 5歳児
歯科検診 全園
焼き芋会 全園児
身体計測
避難訓練



春の頃から「お米作るんだよね」とお米作りを楽しみにしていました。5月、お米作りの話が始めると、お米の知識を持っている子が「こうやって土のところに植えるんだよ」と話してくれたことで、クラスのお米作りへのやりたい気持ちがさらに高まっていきました。

田起こし 代掻き

土づくりでは、団子になっている土をほぐす作業から取り掛かり「ここにまだ大きな塊があったよ」と子ども同士で泥をチェックし、稲を植えるための田起こしに励んでいました。

稲を無事に植えた後は田んぼを見に行き、稲の生長を楽しみにしています。ある子はものさしを持ってきて稲の長さを計り、毎日少しずつ伸びていくことを友達と喜び合ったり、保育士の話を思い出して「水が少なくなってきたから入れなきゃ」「水が冷たくない」と自分たちで水の状態を確認し、水の入替え作業を行ったり「早くお米食べたいな」と楽しみにしていました。

そこから数か月後、いよいよ稲の収穫の日が来ました。二人一組で稲の束を持つ人、ハサミで切る人、と友達と協力して稲刈りをしました。今まで育ててきた野菜と同じように収穫後すぐに食べられると思っていたようで、稲刈りを終わると次は脱穀、そして粳摺りと玄米になるための作業がまだあると聞くと「え、今日食べられないの」と驚きの表情でした。

水の入替え

土づくりから約1年継続して関わってきて、クラスみんなまで育てた経験から、日本の主食であるお米に愛着を持っています。今はみんなで何にして食べようかと相談中の子どもたちです。



田植え



稲刈り



～ お散歩大好き(林試の森公園) ～



プラタナスの広場



門をくぐってすぐの所には草木がたくさんあり、虫探しに大人気の場所です

今日はどんな虫が見つかるかな



見て、顔よりも大きな葉っぱだよ



木の根っこに何かあるよ見てみて



しっぽ取りや氷鬼など追いかけて楽しんでいます



西門

西門から入ってすぐの2つの広場です

おおきな広場



木の根の上でバランスをとって歩きます
落ちそうになるちょっとしたドキドキも楽しんでいます



枝いっぱい見つけたよ
これで焚火しようよ



小枝や落ち葉、どんぐり、木の实など見つけたものを集め、ままごとを楽しんでいます

手作りの虫取り網を持って出発



虫探しポイントや面白い形の木の根っこを見て遊びのアイデアを思いついたり、広場で思いっきり走ったりしています。わくわくがいっぱいの林試の森の楽しい場所、面白い場所で今日は友達と何して遊ぼうかなと散歩に行くことを楽しみにしています。